

令和3年7月28日

社会福祉法人 函館一条  
利用者・保護者各位

「ワークセンター一条」職員の新型コロナウイルス感染者発生の報告と対応について

昨日7月27日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。

経緯を説明しますと、まず7月25日未明に当該職員の同居家族が発熱し、26日にPCR検査を受け、陽性と診断を受けました。当該職員も無症状ではありますが、27日にPCR検査を行ったところ、陽性と診断されました。（当該職員は、家族の発熱により出勤を自粛していたため、25日以降は事業所に入入りしていません）感染者となった当該職員とご家族は、現在療養施設で隔離治療を受けております。

ワークセンター一条としましては、函館市保健所に報告を行い、指示を仰ぎました。48時間遡って判断するのが濃厚接触の定義となりますので、当該職員の発症が27日であることから、当事業所には濃厚接触者にあたる方はいないという判断となり、ワークセンター一条は通常通り事業運営をすることになりました。

ただし、今後どのような状況になるかは予想がつかない部分がありますので、動向を見ながら慎重に対応していきたいと考えています。

このたびの感染者発生により、保護者の皆さま、ご家族の皆さまにはご心配をお掛け致します。しかし、現在の感染拡大の情勢の中で、誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。

当法人としましては、感染者・濃厚接触者となった方やご家族の安全を支えるために、できる限りの努力をさせて頂く所存です。

このたびの感染者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を詮索する行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人函館一条では、利用者の皆さまとご家族の健康、安全を最優先に考え、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条  
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条  
管理者 木田 祥平